

〔 一般教養科 〕

〔 区 分 A 〕

鹿毛 敏夫

遣明船と相良・大内・大友氏

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本史研究 第 610 号、pp3-27、(2013. 6)

大陸の国々とは異なり、日本では外国のことを「海外」と呼ぶ。前近代の日本人は、その海の外に住む人々と交渉や交易をするために、例外なく船に乗らなければならなかった。

数ある海の外の国々のなかで、前近代の日本の歴史形成に圧倒的な影響をおよぼしたのは中国である。古代の遣隋使や遣唐使、中世の遣明使は、東アジアで大きな国力を誇る中国から政治システムや文化を学ぶべく船で派遣された国家的使節であるが、やがて、室町時代の後半期に入ると、幕府の外交権は求心力を保持しつつも分散へと向かっていく。本稿では、この求心と分散の時代（15 世紀半ば～16 世紀）の対明外交に、対外交易に関心の高い西日本の守護・戦国大名がどのような関わり方をしたのかについて、当該期社会に生きた大名や商人による船を使った経済活動にも留意しながら明らかにした。

鹿毛 敏夫

書評 五野井隆史著『キリシタンの文化』

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本歴史 第 790 号、pp107-109、(2014. 3)

近年のキリシタン史研究は、従来の文献史学に加えて、考古学の分野でも活況を呈している。2010 年末から進められている大分県臼杵市野津町の下藤地区共有墓地では、50 基を超える石組遺構（キリシタン墓）と、礼拝堂やミサ広場を思わせる礎石建物、円形敷石遺構が検出された。キリシタンの葬送儀礼や死生観を語る恰好の事例であり、文献と遺物を照合した総合的見解が待望される。本稿では、日本キリシタン史研究の第一人者である五野井隆史氏の新刊著作を論評しながら、人間の生き方の文化とも言える「キリシタンの文化」への総合的検討の必要性を指摘した。

佐渡 一邦

On the Absence of Processes in Non-finite Clauses

佐渡一邦※

※1 新居浜工業高等専門学校一般教養科

甲南英文学 No. 28 , pp. 33-55 , (2013. 7)

アメリカ大統領の演説に見られる珍しい表現について体系機能文法の観点から考察および分類を行った。形容詞のみ、もしくは形容詞の後に前置詞句が続く表現について、類似の表現と比較した上でこれらが形容詞の前に本来必要な動詞 being が省略された不定型節、特に分詞節の一種であると主張した。また体系機能文法は動詞の過程を 6 種類に分類するが、これらの節は「関係過程」を表していることも指摘した。

## 〔 区 分 B 〕

### 鹿毛 敏夫

#### 大内と大友—中世西日本の二大大名—

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

勉誠出版、(2013.6)

中世の日本社会において、周防山口に本拠を置いて西中国地方に勢力を拡張し、全盛期義隆時代には周防・長門・安芸・石見・備後・豊前・筑前の7カ国守護を兼ねた大内氏と、豊後府内（大分）に本拠を置いて北部九州地方に勢力を拡大し、全盛期義鎮時代に豊後・豊前・筑後・筑前・肥後・肥前の6カ国守護を兼任した大友氏。本書は、中世の西日本に並立したこの二大大名権力の領国に焦点をあて、各々の領国制の特質を比較的に検討しようとした論集である。

ともに古くからの研究史を有する大内・大友の両大名であるが、これまで両政権とその領国の特質を比較史的に考察していこうとする取り組みは見られなかった。特に今回は、古文書を読み解く文献史学の研究者と、中世の都市遺構全体を考察しようとする考古学の研究者、遺跡から出土した遺物そのものを解析する分析学の研究者、そして、海外史料を駆使してアジア的規模で時代を分析する対外関係史の研究者の、4つのジャンルの専門家が内と大友それぞれに出そろった。編著者として15名の論文を4部立てに編集し、巻頭に「序文—大名領国比較史へのいざない—」を執筆し、総計552頁の大冊として刊行した。

### 鹿毛 敏夫

#### 大友時代を生きた人々

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

大分合同新聞、(2013.6～)

グローバル・ヒストリーの世界で中世大友時代の歴史が注目されている。旧来の古文書に考古学の発掘や遺物の科学分析を加えた総合的な歴史解明が世界的にも顕著に進んだ地域として、日本の武家政権のなかでも400年にわたって続いた大友氏統治の時代が国際的に再評価されているのである。

新聞社からの依頼を受け、その大友時代の歴史や文化を担った「ひと」を毎月1人取りあげて、当時の「人々」がどのような人間的営みをしていたかを紹介する連載記事を執筆した。今年度分の記事タイトルは以下の通り。6/17「狩野永徳—臼杵城で襖絵を制作」、7/15「狩野松栄—京都の制作通じ関わり」、8/19「仲屋頭通—大豪商、銀取引を統括」、9/16「仲屋宗越—東南アジアへ貿易拡大」、10/28「斯立光幢—豊後硫黄の遣明使」、11/25「ロウレンソ・ペレイラ—日印往復した宗麟の使者」、12/23「陳覚明—中国から渡来の仏師」、1/27「陳元明—秀吉に招かれた4世仏師」、2/10「嶋井宗室—宗麟と結び付いた博多豪商」、3/10「天王寺屋道叱—義統を見舞った堺の豪商」。なお、連載は次年度以降も継続予定である。

### 鹿毛 敏夫

#### アジアン大名の活躍

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

週刊朝日百科 新発見！日本の歴史 第27（戦国時代2）号（朝日新聞出版）、pp22-23、(2014.1)

室町幕府による 15 世紀の遣明船事業は西国大名たちに外交と貿易活動のノウハウを蓄積させ、16 世紀に入ると、それらは大名たちによる独自の対アジア貿易として開花した。出版社からの依頼を受け、15 世紀後半から 16 世紀にかけてのこうした西国大名のアジア世界に幅広く目を向けた諸政策について、当時のアジアを鳥瞰する地図と文章を監修・制作し、アジア大名の活躍の様相をビジュアルに解説した。

## [ 区 分 C ]

### 鹿毛 敏夫

#### 16 世紀九州における豪商の成長と貿易商人化

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

大内と大友（勉誠出版）、pp141-178、(2013. 6)

中世末期から近世初頭にかけて多くの豪商が商圏を拡大して、いわゆる朱印船貿易のような海外貿易を手がけたことは周知の事実であるが、そもそも彼らがどのような経緯を経て富商化し、海外取り引きを主導する貿易商人に成長しえたのかという問題については、史料的制約もあって、これまであまり明らかにされていない。そこで本稿では、同時期に九州の豊後を本拠として活動した豪商について、近年新たに確認された文献史料や考古史料も活用しながら、2代およそ 40～50 年間におよぶ成長の軌跡を明らかにした。

### 鹿毛 敏夫

#### ドイツ・ポルトガルに現存する戦国大名絵画史料

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

南蛮・紅毛・唐人（思文閣出版）、pp203-228、(2013. 6)

16 世紀は、人類史上はじめて「世界史」と呼べるような地球的規模での人間のダイナミックな関係が生まれた世紀である。地球を逆まわりしてアジアで出会ったイベリア半島両国の活動により、ユーラシアの東の端にある日本の状況も、さまざまな手法を使って彼らの本国に伝えられた。当該期の日本は、日本史上のいわゆる戦国時代の後期にあたり、列島各地に戦国大名権力が群雄割拠し、その動乱からやがて畿内政権による「天下統一」へと向かう時代である。16 世紀の日本社会をリードしたこの戦国大名の姿はヨーロッパでどのように描かれ、また、当該の戦国後期の日本社会はどうか認識されたのであろうか。本稿では、近年の史料調査で確認することができた日本の戦国大名と当該期日本社会を描いたヨーロッパ現存の絵画史料群を紹介・考察した。

### 野田 善弘

#### 若者サポートステーションと連携した学生相談

野田善弘※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

新居浜工業高等専門学校紀要第 50 巻、pp7-12、(2014. 1)

新居浜工業高等専門学校の学生相談室は、平成 22 年度以降、様々な外部機関と連携して学生支援を行ってきた。本稿は、そのような外部機関の中で最も成果をあげることができた地域若者サポートステーションとの連携について、具体的な事例を示して、その支援の実態を明らかにしたものである。

## [ 区 分 E ]

### 鹿毛 敏夫

#### Nakaya Soetsu : a Trading Merchant in the Warring States Period in Bungo, Japan

Toshio KAGE※

※Niihama National College of Technology

8th International Convention of Asia Scholars (Macao, China)、(2013.7)

A warlord called as *Daimyo* in the Warring States period in Japan, used to invite powerful trading merchants to be their vassals working as pillar of circulation on their fief and agency who could call individual Chinese merchants to work together.

A Japanese merchant called Nakaya Soetsu kept a big business in the city center of Bungo-Funai and neighboring Usuki in the reign of Otomo in the middle of the XVI century. He used to have a business with Chinese traders who engaged in the trade with Cambodia. In the 1550s, his father Kentsu charged a toll on deck cargo transported by a riverboat, and he succeeded in exchanging rice collected as land-tax for Chinese copper coins. This business brought him a large quantity of profit. After that, in the 1570s, Soetsu can be seen as a rich exchanger of silver growing very quickly inside of 10 years. He negotiated by bills on long-distance trade between Bungo-Funai and Sakai, one of the most flourishing port for overseas trade in the western part of Japan.

In this paper, we would like to clarify a case that a Japanese trading merchant grows as a businessman with political connections by means of ties with a warlord from the end of the sixteenth century to the beginning of the seventeenth century.

### 鹿毛 敏夫

#### ヨーロッパに現存する大友宗麟画像

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

大分市・上智大学連携講座（大分市）、(2013.9)

市民を対象とした一般向けの講座「大航海時代の歴史探訪」において講演した。リスボンの教会や南ドイツの古城に現存する日本の戦国大名と当該期日本社会を描いた絵画史料群を紹介し、その内容について関連する文献史料との考証から考察を加え、海外に現存するそうした絵画や版画、彫刻等の史料を幅広く調査・蒐集することで、これまで文献史料のみでは描くことのできなかつた学際的歴史像が浮かび上がる研究の実例をわかりやすく解説した。

### 鹿毛 敏夫

#### NHK時代劇の時代考証

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

新居浜高専市民講座（新居浜高専）、(2013.9)

生涯学習大学の市民講座において、過去に時代考証を担当したNHK時代劇の制作ドキュメントを紹介

し、大河ドラマのような時代劇が史実・脚本・演出を経て、どのように制作されていくかをわかりやすく紹介した。

## 鹿毛 敏夫

### 世界史と豊後府内

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

大友氏遺跡フェスタ 2013 公開講演会（大分市）、（2013. 9）

大分市教育委員会からの招聘に応じて、大友氏遺跡の世界史的意義について、対中国貿易で輸出された硫黄の国内二大産地が薩摩と豊後であった事実や、カンボジア国王との外交主導権をめぐる島津氏と大友氏の競争事例等を紹介しながら、一般向けにわかりやすく解説・講演した。

## 鹿毛 敏夫

### 三浦梅園と麻田剛立

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

三浦梅園 225 年記念祭シンポジウム基調講演（国東市）、（2013. 11）

国東市からの招聘に応じて、近世の哲学者三浦梅園没後 225 年を記念したシンポジウムにおいて、故郷を同じ国東にもつ純理哲学者梅園と実験科学者麻田剛立を媒介として、江戸時代後期の日本の先進的科学技術や知識がどのように地方に伝播していったかを、市民向けにわかりやすく説明し、本シンポジウムの基調講演とした。

## 鹿毛 敏夫

### 江戸時代の天地測量

鹿毛敏夫※

※新居浜工業高等専門学校一般教養科

宮崎県総合博物館特別展公開講座（宮崎市）、（2014. 2）

宮崎県総合博物館主催の特別展「絵図で歩く日向国」に招かれ、一般向け講座において、江戸時代の天地測量の技術がどのように発展し、また、暦算天文学から物理天文学や地図学へと日本の科学史がいかに連携しながら発達していったかについて、画像資料を交えて解説した。